**第1章　事後学習ワークシート**

1.“発達”という言葉やそれに隣接する言葉の意味を整理するために，空欄に適切な用語を，下記に示した用語の中から選んで入れてみよう。

　「赤ん坊として生まれてから死にいたるまでの間に生じるこころとからだの系統的な変化」を（　　　　　）という。これとほぼ同じ意味をもつ言葉ではあるが，身長や体重の変化といった量的な変化を指す場合により用いられている言葉として（　　　　　）がある。より限定された意味をもつ言葉として，子どもたちの身長や体重，神経や筋肉などが健やかに育っているかどうかを表現する場合により適した言葉として（　　　　　）がある。同じく，特に子どもが成長して生殖機能が完成していくプロセスをしめす言葉として（　　　　）がある。

|  |
| --- |
| 進化，発達，加齢，老化，成長，発育，成熟， |

2.発達のメカニズムを説明する以下の主要なモデルを，この本を読んだことがない人でも理解できるように説明する文章を作成してみよう。

**（2-1）生得説**

**（2-2）成熟優位説**

**（2-3）環境説**

**（2-4）輻輳説**

3.トランザクショナルモデルについて，子どもの発達に良い循環をもたらすことが予想される“子ども側の生まれつきの要因（体質，能力，性格等）”と，“環境の要因（親の性格や関わりの特徴，子育て環境の特徴など）”をそれぞれ1つずつあげ，その要因がどのように相互作用をしながら変化していくか，そのプロセスを記述しよう（※自分の子ども時代を振り返り，自分の特徴と家族や環境の特徴との関係性を参考にしてもよい）。

**子ども側の要因：**

**環境の要因：**

**相互作用のプロセス：**

4.トランザクショナルモデルについて，子どもの発達に悪循環をもたらすことが予想される“子ども側の生まれつきの要因（体質，能力，性格など）”と，“環境の要因（親の性格や関わりの特徴，子育て環境の特徴など）”をそれぞれ１つずつあげ，その要因がどのように相互作用をしながら変化していくか，そのプロセスを記述しよう（※自分の子ども時代を振り返り，自分の特徴と家族や環境の特徴との関係性を参考にしてもよい）。

**子ども側の要因：**

**環境の要因：**

**相互作用のプロセス：**

5.生態学的モデルについて，本章の冒頭にある 事例 ＜保育園デビューの危機－母子分離＞を基に，5つのシステムの特徴を記述してみよう。事例の中で書かれていない内容については，空想や，自分自身の子ども時代の記憶，もしくは現代社会の特徴などの情報を活用して，自由に創作しながら埋めてみよう。

**マイクロシステム：**

**メゾシステム：**

**エクソシステム：**

**マクロシステム：**

**クロノシステム：**